

## 6月末のこと②

6月24日（土）の土曜参観の後、午後に学校運営協議会を行いました。

授業を参観していただいた後、委員の方々に向けて学校説明会で紹介した今年度の学校運営等について話しました。意見交換では、授業参観の感想や、地域での日常の子どもたちの様子についてお話しいただきました。

子どもたちが落ち着いて授業に臨んでいる姿について評価していただき、さらにタブレットを難なく活用していることに感心されている発言がありました。

また、毎回話題になる挨拶の様子について、「なかなかしっかりできていない実態がある」というご意見と「元気よくできている」というご意見があり、時と場所、場面によって異なる姿が見られているのかと思われました。いつも顔を合わせていて、よく知っている方には元気に挨拶できているようでしたが、例えば登下校時などに見守ってくださる方にもしっかり挨拶できるようになると、よりよいのではないかと思いました。

6月29日（木）午後、釜利谷中学校ブロックの小中学校教職員が集まり、研究会を行いました。南部学校教育事務所の指導主事より、学習指導要領に即した各教科の評価について講演していただきました。教科ごとのグループに分かれて研究協議を行い、後から協議の内容を発表し合って共有を図りました。近くの学校に勤務しているものの、普段なかなか顔を合わせることのない教員同士で、学習指導要領の内容にかかわる話し合いをもつことができ、大いに研究の成果を上げることができました。

この中で、経済産業省が出した「未来人材ビジョン」の中の「意識・行動を含めた仕事に必要な能力等」について指導主事より紹介がありました。仕事に必要なとされる能力の2015年版と2050年版を比較したものが提示され、これによると2015年の上位は

「注意深さ・ミスがないこと」「責任感・まじめさ」「信頼感・誠実さ」

となっていますが、2050年は

「問題発見力」「的確な予測」「革新性」

が上位に来ていました。2015年はまだ最近なので、仕事に必要な能力については「なるほど」と納得できますが、2050年についてはいまひとつ想像がつかないように思われました。「未来人材ビジョン」を詳しく見ると、世の中と産業の移り変わりの中で、仕事に必要な能力も変わっていくという説明がつけられています。



6月30日（金）、今年初めて校庭で鳴くセミの声を聴きました。